

講義コード	21G2107500	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当者氏名		開講期	
科目名	子ども支援とコミュニティ				大竹 智		2期		
履修前提条件									
授業の目的	児童虐待、子どもの貧困、ヤングケアラー、不登校、子どもの自殺など、子どもを取り巻く状況は厳しく、これらの社会的課題を解決することが求められている。さらに「トーマ」問題など、家庭や学校、地域社会の中に居場所がなく、居場所を求めてやってくる子ども・若者が後を絶たない。この授業では、改めて「子ども期」に必要なもの・ことは何か、国の「居場所づくり指針」を踏まえ、講義する。								
到達目標	子どもの生活環境および心身の発達の現状をデータに基づき説明できる。また、子ども家庭支援のターゲットである「子育て支援」「親育ち支援」「親子関係（子育て）支援」「育む環境の育成支援」について、地域における具体的な取組について説明できる。さらに「こどもまんなか社会」に向けて必要なことは何か、説明できる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	この科目では60時間以上の授業外学修に取り組むこと。授業外学習では、各回の講義内容を参考に、図書館やインターネット等で、関連する内容・事項を調べる。また、子育て支援のターゲットである4つの支援について、地域で取り組まれている事例など、フィールドワークを通じて学習する。								
授業計画	【第1回】わが国の家庭・家族の変化 【第2回】保育士による子ども家庭支援の基本 【第3回】子どもから見た生活 【第4回】家族の病理と支援の実際 【第5回】特別なニーズに対する支援の実際 【第6回】海外における子ども家庭支援の実際 【第7回】子ども支援と地域支援のソーシャルワーク 【第8回】地域における支援ネットワーク 【第9回】子育て支援の実際 【第10回】親育ち支援の実際 【第11回】親子関係（子育て）支援の実際 【第12回】育む環境の育成支援の実際 【第13回】子どもの居場所がなぜ必要なのか 【第14回】「こどもの居場所づくり指針」の概要 【第15回】これからの子ども支援とコミュニティ								
成績評価の方法	レポート（80%）、授業への取り組み姿勢（20%）で評価する。								
フィードバックの内容	リアクションペーパーに対するフィードバックを翌週授業内にて行う。								
授業実施形態について	対面授業								
教科書									
書籍名	著者		出版者		出版年		ISBN/ISSN		
『子どもと地域と社会をつなぐ家庭福祉論』	加藤邦子他		福村出版		2016				
指定図書									
書籍名	著者		出版者		出版年		ISBN/ISSN		
参考書									
書籍名	著者		出版者		出版年		ISBN/ISSN		
『子どもは歴史の希望』	児童館研究委員会		フレーベル館		2022年				
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	授業終了時、または金曜日3限のオフィスアワー時に、研究室において質問等を受け付ける。								
アクティブ・ラーニングの内容									
その他									